

3

※穴位置がずれないように型紙をまっすぐに貼る

右側も同様に貼る

ドリル 6.0mm

●リアゲート表面まで貫通させる ※左側のみ

注意

●リアゲート右側の穴開け位置の内側に配線が通っていますので、傷つけないように十分に注意して作業してください。

10mm ドリル
ストッパー

リアゲートを穴開けの際、貫通を防ぐためドリルの先端から10mmの箇所にガムテープ等でストッパーを作ってから作業してください(右側のみ)

1. 図を参考にして、型紙に位置がずれないように穴位置の近くにしっかりと貼ってください。
2. 図を参考にして、型紙の穴位置にドリル(6.0mm)にて穴開けしてください。
■右側は下図を参照してストッパーを作製して穴開けし、□左側は、ストッパーを付けずに裏面のパネルまで貫通させてください

4

1. 図を参考にして、車両リアゲート内側の右上のゴムブーツを外して、表面に穴開けした取付穴を確認してください。
2. 図を参考にして、車両リアゲート内側の左上の貫通穴の位置に作業用のサービスホールとして、直径30mmの穴をホルソー等にて開けてください。表面のパネルにキズ付かないように注意してください。
3. 穴開けしたサービスホールから、表面に開けた取付穴を確認してください。
4. 表面、裏面に開けた穴位置を切り等をきれいに清掃し、穴位置をタッチアップしてください。

【リアゲート内側左上】

ドリルホルソー25mm

表面穴から貫通させた穴位置に内側パネルのみ25mmの穴を開ける

30mm

注意

●リアゲート表側のパネルに傷つけないように十分に注意して作業してください。

【リアゲート内側右上】

リアゲート側のゴムブーツを外す

5

①リアウイング

④両面テープ離型紙 ※引き抜くように剥がす

⑥ホールキャップ

③平ワッシャー

②トラスビス

1. 図を参考にして、①リアウイング裏面に貼った④両面テープの離型紙を少し(5cm程度)剥がして、表側に折り曲げてください。
2. 図を参考にして、①リアウイングを再度、取付位置を確認して車両にセットしてください。
3. 図を参考にして、①リアウイングを押さえて車両リアゲートを開けて、内側穴位置から②トラスボルト、③平ワッシャーにて仮固定してリアゲートを閉じてください。
4. もう一度、取付位置を確認して、④両面テープの離型紙を引き抜くように剥がして十分に圧着してください。
アドバイス
●両面テープ離型紙は、②トラスボルトを本締めする前に全て剥がしてください。先に締め付けると、両面テープの離型紙が剥がせなくなることがあります。
5. 車両リアゲートを開けて、仮固定していた②トラスボルトを締め過ぎに注意して確実に固定してください。
6. リアゲート右側の穴にゴムブーツを戻し、左側の穴に⑥ホールキャップを取付けてください。

取り扱い上の注意事項

注意

- 取付終了後は、ネジ類の締め付け及び、全体にガタツキ等が無いかも一度確認してください。
- 取付終了後24時間は、洗車等で濡らさないようにしてください。
- 自動洗車機のご使用はしないでください。破損の原因となります。
- 日常点検を実施して、ガタツキ等があった場合は、そのまま使用しないでください。